

**内澤(竹高)** 筑波研究学園都市初の公立高校として1979年に開校し、今年で創立38年目を迎えました。普通科と国際科の2学科があり、進路希望の実現はもちろん、「国際社会をリードする人材の育成」を教育目標に掲げています。僕たちは毎日楽しく、バリバリ勉学に励んでいます。

**秋葉(竹高)** 団体名のJRCは、Junior Red Cross(青少年赤十字)の略で、簡単にいうとボランティア部です。17名で活動していて、主に災害被災地への義援金の募金活動や、ペットボトルキャップ・古紙回収、献血の呼び掛けなどを行っています。昨年、常総市の洪水被害の際は、校内で絵本を集め被災した子どもたちに500冊を寄付。それから、毎年古紙回収で得た収益でつくば市に車椅子を寄贈していますが、それが8台目となりました。

**渡邊(宮農)** 1885年に名取市に開校した日本最古の農業高校で、農業科、園芸科、生活科、食品化学科、農業機械科があります。校舎は東日本大震災の津波で流されたため、現在は宮城県農業大学の敷地内にある仮設校舎で学んでいます。

**佐藤(宮農)** 科学部の部員は12名で、「復興プロジェクトチーム」として沿岸部に桜とバラを植え、緑を取り戻す活動を行っています。バラは中国の東北地方・貴州省原産の刺梨(ツური)という品種を育て、その果実を利用したお茶を商品化したり、ジャムなどを作っています。



茨城県立竹園高等学校

先輩が企画制作した「環境カルタ」。つくば市内の小学校で教材として使われている。



宮城県農業高等学校

バラの一種「刺梨(ツური)」を育て、それを果実茶として商品化。おいしい!

## Q 現在の日本、世界の環境問題で、みなさんが今感じていることは何ですか？

**若尾(法女)** 高校は京浜工業地帯にあり、大気汚染や排水汚染などはこの30年で随分改善されましたが、まだ不十分。人間がモノの豊かさを追求した結果、新たに生態系破壊や地球温暖化といった問題が起きています。

**内澤(竹高)** そう、確かにあらゆる面で便利になったけど、日本だけでなく地球環境全体が急速に悪化している。

**永野(法女)** 人間は便利なモノを開発し、中には革命的なものもありますが、その便利さに甘え、どんどん欲が出てきてしまった。その結果が温暖化なので、元に戻すのは人間の役目だと思います。

**秋葉(竹高)** 便利な生活を求めて機械化が進み、どんどん電気を使う。その意味を深く考えることは大事だけど、誰でもすぐできる節電・節水も大事じゃないかな。

**渡邊(宮農)** 地元のことでいえば、やはり東日本大震災で岩手や宮城の自然全体が大きく変わったと思う。沿岸部では草木をすみかにしていた昆虫が消え、内陸部でも山を崩して土砂を採取するので緑がなくなり、野生動物に影響が出ています。

**佐藤(宮農)** 良質な土壌を10cm作るのに千年、1cm作るだけでも百年かかるといわれています。東北の自然を回復するには、農業や微生物の力を借りるなどして、私たち人間が手助けしなくてはと思います。

## Q 「2050年」に向かって、高校生が今やることって何でしょうか？

**佐藤(宮農)** 私たちは今、桜の植樹を進めていますが、この活動が広がっていけば、34年後の東北はもっと緑にあふれていると思います。

**渡邊(宮農)** 僕も、東日本大震災で失った緑を取り戻すことが一番大事だと思っています。

**永野(法女)** 一人の力は知れているけれど、今やっている活動や問題意識をみんなに広げていくことが大切です。

**若尾(法女)** 私は、仕組みづくりが必要だと思います。例えば、レジ袋。今でも当たり前のように使われたり、2円で売っています。それはレジ袋がまだあるからで、無ければ買わないし使わない。極端な話ですが、環境に悪いモノをなくすのも大切だと思います。あとは、レジ袋や紙袋を使わなければポイントが付くとか、割引になるとか。そうすれば、自然と環境に配慮した行動ができるのでは？

**佐藤(宮農)** それ、いいと思います。企業が気付かないと実現できないから、私たち高校生がその考え方を広めるために動かないといけない。

**内澤(竹高)** 今、すごく感動した!レジ袋をくれないと、その店で買い物をしなくなるかもと思ったけど、環境を第一に考えるなら、売らない・渡さない。そういう仕組みを作れば、周りを巻き込むことができるので、これはスゲーって思いました。

**秋葉(竹高)** 個人的なことになりますが、ソーラー発電に興味があります。工学系の大学に進んで、屋根に液体を塗るだけで発電できるとか、そんな新しいタイプのソーラー発電を開発して持続可能な社会のために貢献できたらと考えています。

当日は、掲載のほかに高校生の夢や環境宣言など、たくさんの思いを語っていただきました。また、座談会の内容を各高校に持ち帰り、伝えてくれました。ご参加のみなさん、ありがとうございました。

